

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	蒸気原動機特論		
科目基礎情報							
科目番号	0227		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	1			
教科書/教材							
担当教員	山本 桂一郎						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
蒸気機関の発達からその変遷を理解する	講義内容の完全な理解		講義内容をおおむね理解している		講義内容が理解できていない		
船用ボイラーのプロセス制御の基礎を理解する	講義内容の完全な理解		講義内容をおおむね理解している		講義内容が理解できていない		
船用ボイラーのプロセス制御の実際を理解する	講義内容の完全な理解		講義内容をおおむね理解している		講義内容が理解できていない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	筆記試験, 小テスト, 課題を課す. 配分は試験70%, 小テストと課題が30%, 総合評価60%以上が認定						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	1回 ガイダンス 導入	シラバス及び講義形態の説明 蒸気機関の沿革導入			
		2週	2回 蒸気機関の発達 1	産業革命時までの蒸気機関			
		3週	3回 蒸気機関の発達 2	船舶搭載のピストン機関と蒸気往復動機関			
		4週	4回 蒸気機関の発達 3	蒸気往復動機関の作動原理と概要			
		5週	5回 蒸気機関の発達 4	蒸気タービンの発明とそのプロトタイプ			
		6週	6回 蒸気機関の発達 5	我が国における蒸気タービンの発達 1			
		7週	7回 蒸気機関の発達 6	我が国における蒸気タービンの発達 2			
		8週	8回 中間試験	1～7回までの内容について中間試験を実施			
	2ndQ	9週	9回 大形船用ボイラーの自動制御機器 1	現場制御系の概要			
		10週	10回 大形船用ボイラーの自動制御機器 2	空気式制御機器の概説			
		11週	11回 大形船用ボイラーの自動制御機器 3	コントローラーの概要と取扱			
		12週	12回 大形船用ボイラーの自動制御機器 4	空気式ダイヤフラム制御弁の概要			
		13週	13回 大形船用ボイラーの自動制御機器 5	ポジションナーの概要			
		14週	14回 大形船用ボイラーの自動制御機器 6	その他の制御機器			
		15週	15回 まとめ	後半のまとめ			
		16週	期末試験	9～15回の内容及び要あれば全体について期末試験を実施			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0